

多様化する入居者様ニーズへの対応を強化 大東建託の充実した外国人向けの取り組み

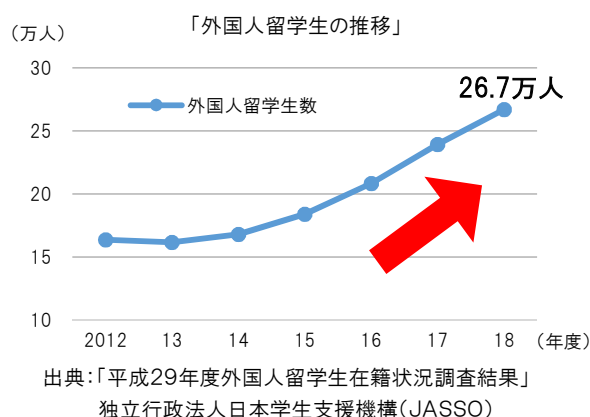
大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、2008年文部科学省によって策定された「留学生30万人計画」により、今後更なる増加が見込まれる外国人入居者様への対応を強化するため、お部屋探しから入居手続き、入居後サポートに至るまで、様々な取り組みを行っています。

■グローバル戦略「留学生30万人計画」

「留学生30万人計画」は、日本が世界に対してより開かれた国へと発展する「グローバル戦略」の一環として、2020年を目途に30万人の留学生受け入れを目指すもので、2008年7月に文部科学省によって策定されました。

2018年5月1日時点での外国人留学生の受け入れ人数は、267,042人※1となっており、年々増加しています。

※1 独立行政法人日本学生支援機構調べ



■外国人留学生の住環境の現状

外国人留学生にとって、留学先での住環境は、留学先を決めるにあたって最も重要な要素の一つと言えます。しかし国内のお部屋探し環境は、外国人留学生にとって、サービスや利便性の面で快適であるとは言い難いのが現状です。

(1)4分の3は民間宿舎やアパートに入居

2014年の文部科学省の発表によると、日本に留学している外国人留学生の約4分の3が、民間宿舎やアパートに入居しているとされています。

(2)4割が入居を断られた経験がある

法務省の発表によると、日本でのお部屋探しを経験した留学生を含む外国人2,044人のうち、約4割が入居を断られた経験がある※2とされています。理由としては、「外国人であること」や「日本人の保証人がいないこと」が挙げられています。

※2 出典:平成28年度法務省委託調査研究事業
「外国人住民調査報告書」

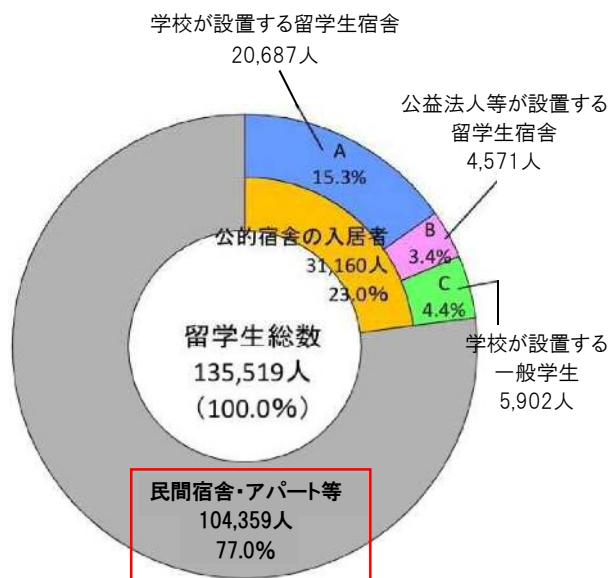


図 : 留学生宿舎の状況(2013年5月1日現在)
出典:平成25年度外国人留学生在籍状況調査結果
独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)

■当社が提供する外国人向けの取り組み

「留学生30万人計画」の実現には、多くの課題があります。特に、留学を受け入れるうえで重要な住環境については、住まいの提供というハード面だけでなく、入居手続きや入居後サポートといったソフト面の支援も必要不可欠と言われており、当社でも様々な取り組みを行っています。

(1)留学フェアに企業ブースを設置

当社は5月18日(金)～10月5日(金)の期間、日本への留学を希望する外国人向けに、日本語学校や大学が学校説明会を行う「留学フェア」に参加します。本イベントは、国内7会場、国外8会場で15日間にわたり行われ、当社としては初めての参加となります。本イベントでは、当社は企業枠としてブースを設置し、外国人入居者様の受け入れ体制や入居後のサポート体制といった、当社が行っている外国人向けの取り組みをご紹介しますことで、外国人留学生が抱えるお部屋探しに関するお悩みを少しでも軽減できればと考えています。



2017年池袋で開催された留学フェア

<国内会場>

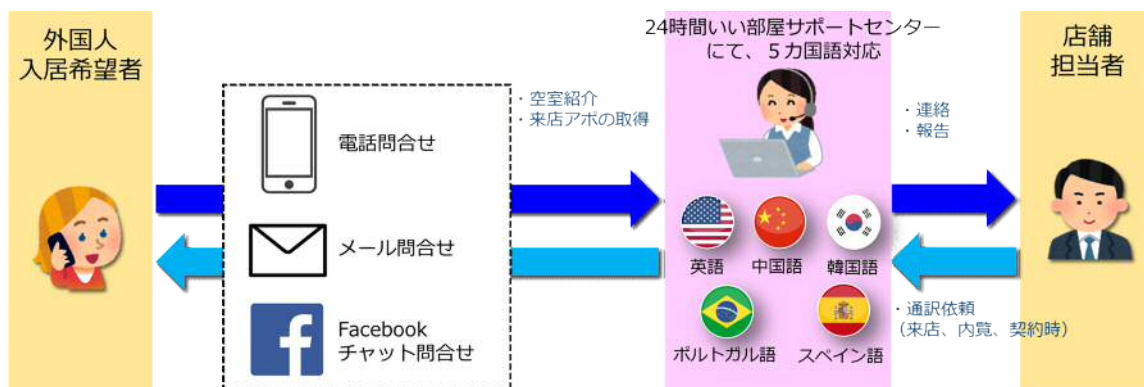
開催日	開催地
5月18日(金)	東京(池袋)
6月 5日(火)・6日(水)	東京(渋谷)
6月 7日(木)	愛知(名古屋)
6月 8日(金)・9日(土)	大阪(梅田)
7月12日(木)	東京(池袋)
7月25日(水)	大阪(難波)
9月 3日(月)	福岡(天神)

<国外会場>

開催日	開催地
7月14日(土)	韓国(釜山)
7月15日(日)	韓国(ソウル)
7月21日(土)	台湾(高雄)
7月22日(日)	台湾(台北)
9月 8日(土)	韓国(釜山)
9月 9日(日)	韓国(ソウル)
10月 4日(木)	台湾(台南)
10月 5日(金)	台湾(台中)

(2)24時間いい部屋サポートセンターでの5カ国語対応(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語)

当社のお部屋探しサイト「いい部屋ネット」内に、外国語版のサイトを設置。希望する言語を選択すると、その言語のお部屋探しサイトへ遷移します。専用のフリーダイヤルやお問い合わせフォーム(メール)、SNS(Facebook)にて、お問い合わせが可能になります。



(3)外国人向け賃貸保証サービスの導入

当社は、外国人専門の保証機関、株式会社グローバルトラストネットワークスと提携し、外国人専門の賃貸住宅保証サービスを導入しています。これにより、外国人入居者様にとって負担となっている保証人探しが必要になります。

(4)新生活サポート動画(5カ国語対応)の導入

新生活サポート動画は、外国人の入居者様向けに入居ルールやマナーを紹介するもので、5カ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語)対応で言語ごとに動画をご用意しています。ゴミの出し方や家賃の支払い方など、外国籍の入居者様が理解しづらいルールやマナーについて、ポイントとなる項目を短時間で紹介しています。



【ゴミの出し方(中国語バージョン)】
日本語訳:ゴミ出しルール・曜日別一覧表
を参考にしてください。

○関連ニュースリリース/2018年4月27日

外国籍入居者様にルールやマナーを紹介「新生活サポート動画」(5カ国語対応)を5月1日より運用開始
http://www.kentaku.co.jp/corporate/pr/info/2018/agehc40000008yjc-att/supportvideo_0427.pdf

(5)「留学生日本語スピーチコンテスト」に協賛

当社は、2018年3月7日(水)にTKP品川カンファレンスセンター(東京都港区)で開催された、第1回「留学生日本語スピーチコンテスト」に協賛しました。

本コンテストは、日本語学校に通う中国、ブラジル、モンゴル、ベトナムの留学生8名が参加し、実際に住んでみて感じた「日本の暮らしと母国の暮らしの違い」についてスピーチを行い、最優秀賞1名、優秀賞2名、敢闘賞2名が選ばれ表彰されました。

【コンテスト概要】

開催日 :2018年3月7日(水)
内容 :スピーチコンテスト/
テーマ「日本の暮らしと母国の暮らしの違い」
ミニワークショップ/
テーマ「日本列島のパズルを完成させる」

会場 :TKP品川カンファレンスセンター
(東京都港区高輪3-26-33)

参加人数 :スピーチコンテスト 8名(観覧者:12名)

主催 :株式会社グローバルトラストネットワークス

協賛 :大東建託株式会社

審査委員 :国常 ロペス(株式会社グローバルトラストネットワークス)

張 文嫻(株式会社グローバルトラストネットワークス)

笠井 信幸(育秀国際語学院/学院長)

江口 万里(育秀国際語学院/教務主任)

稲垣 達也(大東建託株式会社/不動産事業マーケティング企画センター^{※3}/部長)

戸井 良三(大東建託パートナーズ株式会社/いい部屋サポートセンター/課長)

※3 協賛時(現:TQC事務局)



参加者のみなさん

【受賞者のスピーチ内容】

<最優秀賞>

張 小舟さん(中国)

私が感じた中国と日本の違いの1つめは住まいの違いです。日本の建物は、よく木材が使用されているため音が外に漏れやすく、日本人は家でも音をたてないようにしています。しかし中国は、家が密集しているため、火事の際に耐火性のある鉄筋コンクリートが多く使われています。窓を閉めるとほとんど音が漏れないため、中国人は家では自由に過ごしています。

2つめは映画館に行ったときのことで、隣の日本人は終始変わらない姿勢で鑑賞し、ほとんど笑わず声も出していませんでしたが、私はおなかが痛くなるほど笑いました。中国でも映画を見るときは静かにするのが基本です。しかし笑いたいときは笑い、泣きたいときは泣きます。中国人は自然な人生を求めますが、日本人は他人に迷惑をかけないように感情を示さない人が多いです。社会では、日本人の考え方は優れていると思いますが、少々つらいところもあると思いました。



<優秀賞>

スガヌマ ダニエル リュウジさん(ブラジル)

私が感じたブラジルと日本の1つめの違いは治安です。ブラジルは、1分ごとに誰かが何かを盗まれていると計算されるほど、治安の悪い国で知られています。しかし、日本は世界一安全と言っていいほど安心して生活ができます。

1番感じたことは、最新技術の進歩です。日本では世界に誇る最先端技術が日々の生活に馴染んでいます。例えば、自動販売機などブラジルでは考えられない便利なものが日本にはあります。外国人として日本で生活し、様々な文化の違いを感じていますが、母国より安心・快適に暮らせるのは、日本の素晴らしい特徴だと思います。



エンフタイワン オトゴンツェツェグさん(モンゴル)

私が感じたモンゴルと日本の違いの1つめは、私の祖父母と同年代くらいの身体障がい者が元気に仕事をしているのを見たときです。来日当初、私は毎日忙しく寂しい生活で苦勞していましたが、その姿をみて感動しました。モンゴルには、高齢者や障がい者が仕事をする姿はあまりないからです。

2つめは、日本のサービスについてです。私のアルバイトを先でも、全員がお客様に対して大きな声と笑顔で挨拶をしています。モンゴルではお辞儀をする習慣がありません。

3つめは、性格の違いです。どうして日本人は消極的なコミュニケーションをしているのか先生に聞くと、「相手の気持ちを考えているからです。」と言っていました。一方モンゴル人は、正直な人間です。私の話ですが、アルバイトの友達にお菓子を勧められ、「いらない」と言うと、友達から笑顔がなくなりました。モンゴル人は思ったことを正直に表す人間ですが、今の私は上手に優しく断ります。日本から学ぶことはたくさんありますが、少しずつ身に付けていきたいです。



当社は今後も、多様化する入居者様ニーズへの対応を強化し、ハード、ソフトの両面からより快適な住環境を提供していきます。

< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174